

事務事業名	雲南市社会福祉協議会補助金【法人運営事業】		所属部	健康福祉部	所属課	健康福祉総務課
政策名	〈Ⅲ〉支えあい健やかに暮らせるまち〈保健・医療・福祉〉		所属G	総務G	課長名	野々村 達志
施策名	〈24〉地域福祉の充実		担当者名	石原 聡志	電話番号	0854-40-1041
目的	対象 市民	意図 地域で支え合い、安心して暮らす。	予算科目	0:1:1:5:0:2	(内線)	2131
基本事業	〈069〉地域福祉課題の解決に向けた取組の支援		事業名	社会福祉総務管理事業	事業名	社会福祉協議会法人運営事業補助金
目的	対象 市民	意図 課題解決に向けて取り組む。	事業名	社会福祉協議会法人運営事業補助金	事業名	社会福祉協議会法人運営事業補助金

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
市民	地域で安心して生活できる
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 ☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返(H16 年度～) ☐ 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	社会福祉法に基づき設置された雲南市社会福祉協議会が、社会福祉関係者、関係機関の参加・協力のもと、地域の人々が安心して生活できる「福祉のまちづくり」の実現を目指したさまざまな事業、活動が実施されるよう、その運営全般について協議、補助を行う。
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R5年度実績(R5年度に行った主な活動)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
・補助金交付 ・法人運営全般に関する協議	補助金の削減に努め、H27年度に当初比30%削減が達成できた。 しかし、近年は日本経済の回復とともに賃金引上げの情勢となっており、人件費(職員給与)については増加傾向にあることから、補助金額も増えている。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (実績)	R6年度 (計画)
ア 1年以内に福祉ボランティア活動をしたことがある市民の割合	%	27.8	30.2	31.4	31.4
イ 住み慣れた地域で安心して暮らしている高齢者の割合	%	78.3	75.0	74.0	74.0
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R5年度決算)	② コストの推移	単位	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(決算)	R6年度(計画)
法人運営事業に対する補助金: 112,366 千円	財源内訳	国庫支出金	千円			
		県支出金	千円			
		地方債	千円			
		その他	千円			
		一般財源	千円	110,597	112,546	112,366
	事業費計	千円	110,597	112,546	112,366	116,058

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	社会福祉法第109条に規定されている地域福祉を推進するため、雲南市社会福祉協議会の事業計画に沿った事業が実施されている。
② 事業実施するうえでの課題	地域福祉が進展する上で、社会福祉協議会の役割は非常に大きいものがある。社会福祉協議会の事業・体制について行政も一緒になって協議・検討を行い、より地域福祉が進展するよう環境を整えていくことが必要である。
③ 課題解決に向けた改革改善等	雲南市社会福祉協議会への補助金が、有効かつ効率的に運用されるよう精査・整理する。